

第9回城北地区少年硬式野球親善大会・練馬区長杯ルール

【試合留意事項（時間・勝敗等）】

試合は最大90分の時間制とします。75分を超えたら新しい回には入らず、90分に満たなくても表裏の攻防が終了した時点で終了します。判断に迷う場合は、現地に駐在する大会事務局（もしくは大会事務局が委任したもの）が判断することとします。

60分を超えてからのタイムは時間を止める。試合進行への影響を小さくするよう各チーム協力をお願いいたします。

時間切れで同点のまま勝敗がつかない場合は、以下のルールで勝敗を決めます。

タイブレーク：1死2塁3塁の状態から試合を再開します。ランナーは打者の前打者・前々打者としてします。原則そのイニングの表裏で勝敗をつけます（予選リーグ）。

決勝トーナメントはタイブレークで決着がつくまで継続します（毎回ごとに締める）。

予選リーグ、タイブレークで3回の攻防を実施しても決着がつかない場合は【引き分け】として扱います。

予選リーグチームが1勝1敗1分けで並んだ場合は以下の優先順位で順位を決めます。

①得点が多いチーム②失点が少ないチーム③試合回数が少ないチーム

①～③でも勝負がつかない場合は、チーム代表3人によるじゃんけん勝負とします。

雨天順延等でチームが同会場にいない場合は、電話による聞き取りなどで対応します。

【審判について】

ローカル大会ですので、各試合に各リーグから2名ずつの選出をお願いいたします。

原則1塁ベンチ側のリーグが、主審・2塁審を、3塁ベンチ側のリーグは1塁審・3塁審を請け負ってください。やむを得ない理由で、審判ポジションが対応できない場合は、対戦チーム内で相談し、調整して下さい。

【試合球について】

銘柄の指定は行いませんが、連盟球もしくはそれに準じたものをご準備ください。

1試合で各チーム2球ずつの提出をお願いします。ホームランが出た場合、記録サインののち選手に贈呈しますので、その場合はチームから試合球を補充してください。

【投手について】

投手の1日の投球制限はリトリーグ東京連盟の定める投球数の制限を遵守する（上位ルール）。1試合の投球数が20球以内であれば、当日内の連続した試合においても登板を認めます。

特別措置として、大会スケジュールの変更により連日の試合となる場合は1試合を挟めば、登板できることとします。

【コールドゲーム】

3 回終了時 15 点差、4 回終了時 10 点差、5 回終了時 7 点差がついていた場合には、時間に関係なくコールドゲームが成立する。

【雨天取り扱い】

雨天の取り扱いについて、できる限り試合は決行する。雨天中止が疑われる場合に限って、グラウンドの状態は、朝 6 時 30 分の段階で大会事務局より各会場担当者へ連絡し、確認します。その後一斉メールで連絡します。

雨天順延の場合は、翌土曜日に順延として検討します。。

そのほかのルールはリトル東京連盟ルール 2018 に準拠するものとする。